



法華宗信報



鬼ノ城（岡山県総社市）



信心の かけ橋

法華宗信報 167 号目次

- 2～3 年頭挨拶 大本山鷲山寺貫首 佐藤日賢猊下
- 4～5 備中講頓写音楽大法要の現在
- 6～7 寺院マップ～岡山県備中地方（南部）～
- 8 表紙紹介「鬼ノ城」 編集後記

謹賀新年

大本山鷲山寺貫首

佐藤日賢



新年明けましておめでとうございます。

お正月というと、お爺さんやお婆さんの家に家族揃って訪問し、子どもの成長した姿を見せ、お寺やお墓に初詣でご本尊様、ご先祖様に近況報告をすると共に、新年の抱負を語り合うという事が当たり前に行われて来ました。しかし新型コロナウイルスの蔓延により、外出自体がままならず寂しいばかりです。

最近私のスマホに孫の動画がよく送られて来るようになりました。会えずとも、遠く離れた孫の様子がよく分かるようになりました。スマホは使えない、操作が出来ないと思って

いる方々には、新しい年の目標としてチャレンジしてみてはいかがでしょう。

令和という新しい年号に変わりはや四年、コロナウイルスが広まり二年という歳月が流れました。このウイルスによって、生活様式が一変し、外出の際には感染予防のためマスクの着用、外食の時は黙食にするなど急速に変わっていきました。

さらに昨年度にはオリンピック・パラリンピックの開催前に問題となった女性蔑視ともとれる問題発言、人権・性差別・障害者への偏見、差別の問題など、時代に相応しくない問題がまだ存在する事が表に出てきました。姿や形が違う、障害を持って生まれてきた、普通とは違うから『だからこの人間は閉じ込めてしまえ』『付き合ってはいけない』、女性が職場にいればお茶を出すのが『当然』、女房が居れば食事を作るのが『当然』、子どもを育てることとは母親が『当然』等と考える。これらのことは少し前の日本人が普通と思っていたことは否めません。これからは古き良き日本文化は残しつつも、こういった差別的言動は無くしていかなければなりません。

人によって『出来る事』・『出来ない事』があるのは当然な事です。それを自分の価値観の

みで判断するのでは無く、それぞれの個性を尊重し合い互いに協力し合う事が出来れば、現代社会に於いて、障害を持つている人達が今まで以上に活躍し易くなり、女性の社会進出も進み、共働きをしていれば子育てや家事は協力し合う家庭が出来るはずです。

言葉に出さずとも誰でもみんな同じ命を持った『人』と考え、みんなで協力しいろいろな問題に立ち向かうことが出来る社会を創ることが大切な事だと思います。

仕事の仕方にも変化が見られました。できるだけ外出を避けるよう自宅で仕事を行いましょうと在宅ワークが推奨されました。普段会社で仕事をしている人が自宅に居る、特に子育て世代の家庭では色々な問題が浮き出してきたようです。夫婦

の問題であれば話し合い、ルールを決めて行えば家事に於いて解決していくことが出来るであろうが、急な生活様式の違いは精神的にも大きな負担となっているのも



事実であり、少しずつこの環境に慣れることが必要です。

コミュニケーションで大切な『感謝』を伝えることは『ありがとう』と言う言葉を増やす、という習慣を付けてみてはいかがでしょうか。

例えば外食の時、料理が来たら『おう』ではなく『ありがとう』、家で料理を作った貰ったら『ありがとう』、使ったお皿を流し台に持って行けば『ありがとう』。どれも当たり前ではなく、有難い事であると捉える。次第に少しのことでも感謝し他人にも同じ事を行える人となるでしょう。

宗祖日蓮大聖人は『重須殿女房御返事』の中で、正月の一日は日の始め、月の始め、年のはじめ、春の始め。これをもてなす人は月の西より東をさして満つるがごとく、日の東より西へ渡りて明らかなるが如く、徳もまさり人にも愛せられ候なり

と示されています。正月は年の始めであるから大切にすれば、人を愛することも愛されることも出来る人間になることが出来ます。という意味です。

令和四年コロナウイルスという脅威がどのようなになるか生活様式が更に変わってしまうか誰にもわかりません。しかし日蓮大聖人の

教えである、お題目を唱え伝え世界の平和を目指す目的は一向に変わりません。新たな年に新しい生活様式と共にお題目を唱え正しい考え、仏の種を心に植え付け、人生を歩んで頂きたいと思います。

新型コロナウイルス感染症の少しでも早い収束を祈願致しますと共に皆様のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

合掌



「タンチョウ」

写真提供「岡山後楽園」

現在の法要大音楽写頓講中備



昨年夏の「法華宗信報一六五号」では「備中講頓写音楽大法要の歴史」として、今から約三百年前から続いている岡山備中地方伝統の法要を紹介させていただきました。今号ではその歴史を受けて現在どのようなように頓写法要が奉修されているのかをご紹介します。

①準備

それぞれの寺院にとっては十二年に一度当番が回ってきます。法要に向けて年に数回、組寺住職が集まり当日の差定（式次第）について会議を行います。また当番寺住職と檀信徒は協議を重ね境内や本堂の整備を計画的に行い、献茶人・献花人とも何度か練習会を行って、頓写法要を迎えています。



②靈簿

最初に本願主が永代供養を志した法要「本願写」に対し、のちに備中組寺の檀信徒からの御供養の志を受けて別に座を設け行われるようになった「別頓写」という法要があり、靈簿

にはこの「別頓写」加入の方々の志す霊位が記入されています。現在も毎年新たに加入されていて、これを「新頓写」と呼び、当番寺の住職が御宝前で読み上げて供養し、志主名とともに靈簿に書き加えられます。

この靈簿は法要中二日間を通し出仕の僧侶方により奉読されます。

③献茶・献花

献茶・献花とは、当番寺檀信徒の女性方が各法要の最初に御宝前に抹茶と生花をお供えするもので、受け渡しの作法はあらかじめ練習を行ってから法要に臨んでいます。



④ 法則

法則とは「法式儀則」の意味で、法要の趣旨や功德を讃嘆した文章が連ねられています。

頓写の法則では法華經を書写し御題目を唱える功德が説かれ、享保年間（一七二〇頃）備中組寺に寄せて永代供養を志した「本願主」をたえ回向されます。またその後、約三百年間輪番（当番）をつとめられた寺檀の諸霊に回向され、頓写法要が皆の信心増進や各寺院の繁栄に寄与された事が読み上げられます。そして最後に脈々と伝えられてきた頓写法要が今後も続いて行くよう願われます。



⑤ 行道

行道とは、本堂内部を三回めぐり回って、御宝前を礼拝する作法です。頓写法要では、組寺住職が華皿を持ち、献茶人と共に自我偈の一節（我



が此の土は安穩にして〜」を読みながら歩き、散華を行っています。

⑥ 音楽（雅楽）

龍笛・篳篥・笙・太鼓の雅楽楽器を用いて、

出仕の僧侶が「越天楽」を御本尊と諸霊に供えます。



⑦ 総回向

当番寺は頓写にあたり、本堂前に高さ四メートルほどの角塔婆を建てており、頓写法

要の最後にこの塔婆に向かつてお経を上げ、住職・献茶人・参詣された組寺総代らによって水が手向けられ、法要が締めくくられます。



⑧ 引継ぎ式

全法要終了後、新旧当番寺の住職・総代全員が揃い、厳重に「引き継ぎの儀式」を行います。

新旧当番寺の住職・総代は「引き継ぎ簿」に署名捺印をし、参詣者の見守る中、御宝前で輪番が申し送られます。そして本願主の御位牌・靈簿・過去帳が次の当番寺へと引き継がれ、一年間頓写法要まで当番寺において御供養されます。



如何でしたでしょうか。近年の新型コロナウイルスの影響のように開催が危ぶまれる年もございます。そのような年でも、約三百年間続けられてきた信仰の燈を消してはならないという想いを持ち、何度も会議を重ね、手段方法を模索し続けています。時代の流れに伴って私達の日常も日々変化を見せていますが、方法が変わる事があっても想いは変えず、緊いしていく事に意義があるのではないのでしょうか。

※参考資料「日蓮大聖人法則解説」



岡山空港
(岡山桃太郎空港)



三仙寺

〒701-1464
岡山市北区
下足守 2026



新福寺

〒701-1355
岡山市北区
高松田中 317



備中高松城址(びっちゅうたかまつじょうし)

戦国時代、天下統一を目指していた織田信長は天正5年(1577)から羽柴秀吉を中国地方に遣わし攻め込んでいましたが、そこに立ち上がったのが毛利氏で、東から攻めてくる秀吉率いる織田軍に対し、備前と備中の境となる足守川沿いに南北に並ぶ「備中七城」を築き、防衛ラインとしました。その中心となるのがこの備中高松城です。



天正10年(1582)5月、秀吉は清水宗治が守る高松城を攻めあぐねていましたが、折しも梅雨の頃、軍師黒田官兵衛の進言により足守川から約2.7kmの堤防を築き増水した水を引き込み、「水攻め」により湖の孤城としたのです。

両者ともに手を出せないままでは、6月2日京都本能寺では明智光秀の謀反により織田信長は最期を遂げます。〔「本能寺の変」〕その知らせを毛利よりいち早く知った秀吉は、そのことを隠して高松城主・清水宗治の切腹と引換に講和を結びます。そして、弔い合戦のため急ぎ京都まで駆けつける「中国大返し」となり、秀吉が天下人となる大きな転機となったのです。

所在地 岡山市北区高松 558-2

本隆寺

〒701-1345
岡山市北区
新庄上 630



寺院マップ～岡山県備中地方(南部)

東光寺

〒701-1463
岡山市北区
足守 918



近水園(おみずえん)

こぼりえんしゅう

旧足守藩・木下家の庭園で、小堀遠州流の園池を中心とした池泉回遊式庭園です。木下家は、羽柴秀吉の正室「ねね」の実家としても知られています。近水園の築庭時期は定かではありませんが、18世紀初めと推定されていて、岡山県下では岡山の後楽園、津山の衆楽園と並ぶ大名庭園です。秋の紅葉シーズンには多くの観光客が訪れます。

所在地 岡山市北区足守 803



近水園

鬼ノ城址



乗典寺

〒701-1463
岡山市北区
足守 932



矢喰宮(やぐいのみや)

岡山自動車道の岡山総社 IC を下りてすぐの所にある神社であり、周りには田畑が広がる中、この境内には大小4個の巨大な花崗岩の岩が横たわっています。鬼ノ城にいた温羅が投げた巨岩と吉備津彦命が射た弓がぶつかり合って落ちた場所だという言い伝えが残るのがこの「矢喰宮」です。

「鬼ノ城」や「吉備津神社」などと共に日本遺産「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま」の構成文化財として選ばれています。

所在地 岡山市北区高塚 108



妙徳寺

〒719-1121
総社市
赤浜 984



岡山自動車道

岡山県立大

岡山総社 IC

服部駅

足守駅

180

東総社駅

総社駅

総社市役所

表紙紹介

【鬼ノ城】

鬼ノ城は、岡山県総社市にある標高（約400m）の鬼城山に築かれた古代山城です。すり鉢を伏せたような形のこの山の8～9合目にかけて、城壁が約2.8kmに渡って鉢巻状に巡らされています。城壁は基本的には高さ約6mの土塁で、要所には堅固な高い石垣が築かれ、谷部には排水のため水門も設けられています。眼下には古代吉備の中枢地である総社平野と足守川中流域平野を望み、快晴時にははるか瀬戸内海や四国の山並みを見渡せる絶景の地にあります。

古代の吉備には温羅という鬼がおり、この鬼ノ城に住み着いた温羅が村人を襲い悪事を働くので、大和朝廷から吉備津彦命が派遣され、温羅を退治したという伝承が残っています。これが「桃太郎伝説」の元となりました。しかしその一方で、朝鮮半島から渡来した温羅は、製鉄や稲作の技術を持ち込み吉備国に繁栄をもたらしたとも言われています。

2018年、『桃太郎伝説』の生まれたまちおかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～が「日本遺産」として選ばれ、この「鬼ノ城」や吉備津彦命が祀られる「吉備津神社」（法華三十番神の一つ）、全国4位の大きさを誇る「造山古墳」、「矢喰宮」も構成文化財として選ばれました。（6・7ページのマップ参照）



法華宗布教機関誌

無上道

を読んでみませんか？

『無上道』は、法華宗の教えを皆様と共有することで、日常の精神的な支えになる事を願って発行されている法華宗の月刊誌です。

昭和24年(1949)1月に創刊されてから毎月発行されていて、法華宗の教えを解説した記事、お坊さんや檀家さんに「自分が感じる教えの有難さ」を取材した記事、法華宗の各お寺の歴史、また「生け花と法華宗」・「流行り病と法華宗」といった特集記事など、様々な記事を掲載しています。

「無上道」の名前の由来は「この上無い道」、つまり「仏道」を指していて、法華経の中に25回も出てくることばです。皆様の信仰の糧として是非一度読んでみませんか？ご購入を希望される方は、各法華宗寺院の御住職や、法華宗宗務院までお問い合わせください。

※年間購読料3,200円(毎月発行・年間12冊)

【お問い合わせ】

法華宗宗務院内 無上道発行所

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-19-1
電話番号:03-5614-3055 FAX:03-5614-3056

編集後記

令和四年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年コロナ感染拡大に伴い、各方面の行事・催し等も縮小や延期、又は中止を余儀なくされることも多々ありました。そういった事を含め、コロナ禍で不自由な日常生活を送る一年であったかと思えます。本年は少しでも不自由な日常が改善され、健やかな一年と成るようお祈り申し上げます。
今号の信報発行に際し、大本山鷲山寺佐藤日賢親下にかかれましては、大変ご多忙中にも関わらず原稿を賜り、心より感謝申し上げます。
私達の本紙の編集部任期三年のうち二年が経ち、残り一年と成りました。編集部一同、より一層精進してまいりますので、本年も引き続き「法華宗信報」をよろしく願います。
圓成昭龍

法華宗信報

NO.167

令和4年1月1日発行

編集部/〒701-4302

発行所/〒103-0013

印刷所/(株)創文社

発行人/

岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 3194 本蓮寺内

TEL0869-34-2014

東京都中央区日本橋人形町 2-19-1 法華宗宗務院

TEL03-5614-3055 <http://www.hokkeshu.or.jp/>

編集人/圓成昭龍

法華宗(本門流)公式ページ

